



# 区を豊かに

2021年  
12月19日発行  
第37号

**発行者** 新潟市西区自治協議会 会長 大谷 一男  
**編集** 新潟市西区自治協議会 広報紙特別部会  
**事務局** 〒950-2097新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内  
 TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650  
 メール: chiiki.w@city.niigata.lg.jp



西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟すいか、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽をのせました。

## 地域課題解決に向けた提案募集事業

# 区の魅力発信・賑わい創出に向けて採択事業を決定

地域の状況を的確に捉え、複雑化する地域課題の解決に向けてきめ細かに対応するため、課題に取り組む団体などと協働して、効果的な解決を図っています。今年度は「区の魅力発信・賑わい創出」に応募した越後新川まちおこしの会の「文芸の故郷ガイドブックの作成と地域への誇りと愛着の醸成」を採択しました。今号ではその事業について紹介します。

## 文芸の故郷ガイドブックで愛着を育む

芥川賞作家の藤沢周さんをはじめ、文芸人を多く輩出している内野・五十嵐地区。文芸人に焦点を当てながら、内野・五十嵐地区を紹介するガイドブックを作成し、新たな魅力を探るとともに、まちおこしのきっかけにします。

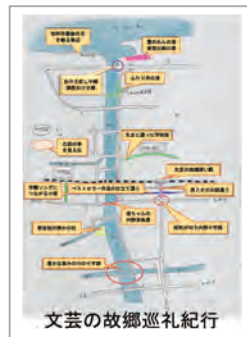
### 実施内容

- ガイドブックの作成  
文芸人の選定、インタビュー、編集委員会の実施
- 小中学校PTAを対象とした講演会の開催  
ガイドブックをもとに、講演会「親が子に語る内野の新たな魅力と誇り」を開催します
- ガイドブックを小中高等学校へ寄贈  
学習や読書などで活用できるように、内野・赤塚・中野小屋地区の小中高等学校にガイドブックを寄贈しました
- 図書館にガイドブックを設置  
皆さんに気軽に読んでもらえるよう、11月下旬から坂井輪図書館、黒埼図書館、内野図書館に設置しました

## ガイドブックの一部を公開



作詞家久仁京介さんや作曲家遠藤実さんの楽曲は、高齢者には懐かしく、若年者には新鮮な気持ちで読めるのではないのでしょうか。他にも内野・五十嵐地区に縁のある文芸人に触れることで、思いを巡らせます。



多くの文芸関係者を輩出してきた内野・五十嵐地区を「文芸の故郷誘い駅」と位置づけた内野駅を始点に、多くの見どころスポットを紹介しています。内野駅前の通りや内野四ツ角など、ガイドブックを片手に今までとは違った視点で内野に息づく文芸に触れてみてはいかがでしょうか。

## みてきて心が動き出した 第9回西区アートフェスティバル



10月23日、24日に西区アートフェスティバルを開催しました。9回目となる今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、音楽・芸能団体発表は中止し、アート作品展示と音楽と光の演出「おん×てっく2021」の開催となりました。

黒崎市民会館を会場に、新潟大学工学部人間支援感性科学プログラムの学生による音と光が融合した空間や工学技術を用いた表現作品、区内小学生の自由研究優秀作品、アール・ブリュット作品、新潟国際情報大学写真部作品を展示。2日間に訪れた来場者延べ人数は460人で、多くの方が西区の芸術をみて、きて、心が動き出していました。

## 環境美化に取り組む第1部会の活動紹介

### きれいで住みやすいまちを目指して

防犯・防災、自然環境、住環境などの課題解決に取り組む西区自治協議会第1部会。今年度は「環境美化」の課題解決を重点的に取り組んでいます。地域で課題解決に取り組む団体へ提案募集をしましたが、採択事業がなく、自分たちの手できれいで住みやすいまちを目指し、活動しています。

## 西区にも大量のポイ捨てごみ

10月11日、西区のポイ捨ての現状を調査するために、部会委員が流通センター東公園付近や高速自動車道鳥原バス停付近でごみ拾いを実施。約1時間で45%のごみ袋約90袋分、310kgを拾い集め、西区でもポイ捨てごみが多いことが分かりました。



## 勉強会を実施

市廃棄物対策課斎藤係長から市の「ばい捨て・路上喫煙防止条例」などの説明を受け、意見交換を行いました。

また、ごみ拾いSNS「ピリカ」を開発し、他都市と連携しながらあらゆる環境問題を克服することを目指す株式会社ピリカの澤村さん、小山さんとインターネットでつなぎ、ピリカの活用方法などの説明を受け、今後環境美化に取り組む際の参考にしました。

## 調査・勉強会を終えて

第1部会会長 岩沢孝金  
今回実施した現地視察や勉強会を通じて、西区のごみの現状やごみの無いまちを目指すことの大変さを学ぶことができました。

ごみをまちから完全に無くすことはできませんが、ごみを捨てる人の行動変容やごみ拾いのハードルを下げることに繋がる取り組みを実施してまいります。



# 冬の使者・コハクチョウに会いに行こう！ 豊かな自然に出会える場所

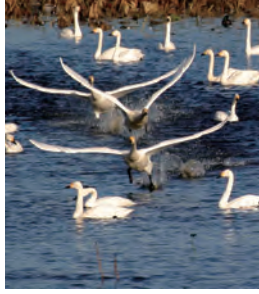
さかた  
佐潟

政令指定都市でありながら豊かな自然に出会える佐潟。春は桜、夏は佐潟まつり、秋は昆虫観察、冬は野鳥観察など、佐潟は四季折々の表情を見せてくれます。今の時期、数千羽のコハクチョウをはじめ、さまざまな野鳥が訪れる佐潟を体験してみませんか。



## 魅力あふれる冬の佐潟

10月5日、昨年より2日早くコハクチョウの着水が確認された佐潟。渡り鳥の越冬地として知られ、コハクチョウ、オオハクチョウ、マガモ、コガモなどが見られ、多くの野鳥愛好家が訪れます。



ラムサール条約湿地となり、水鳥類や湿地の保全についての普及啓発、調査研究及びモニタリング等を行う拠点施設として、環境省が佐潟水鳥・湿地センターを設置。館内では、スコープで野鳥の観察ができるほか、野外観察用に双眼鏡の無料貸し出しもあります。11月から2月の土曜・日曜では、午前7時から開館しているため、早朝から野鳥観察を楽しむことができます。



## 佐潟の歴史

佐潟の成立時期は縄文時代以前と言われ、かつてこの一帯は入り江で船着き場でした。11世紀末の地震と津波で地形が変化し、村は現在の赤塚中心部に移転したと言われています。

漁業や佐潟の水を利用した農業など、佐潟は地域の生活を支えてきました。住民は湖岸の整備や葦刈り、腐植物の処理などをする「潟普請」として環境管理に努め、現在でも、住民や学校が中心となり「潟普請」が続けられています。

(取材 長澤良徳)



日中は餌を探すため、田んぼに向かうんだ♪



### 登録25年 ラムサール条約湿地 佐潟

新潟砂丘の砂丘列間の低地に位置し、上流側にある小さな上潟と下流側にある大きな下潟の大小2つの潟からなる淡水湖の佐潟。コハクチョウをはじめとする渡り鳥の集団渡来地として、1996(平成8)年にラムサール条約湿地に登録され、ことしで25周年を迎えました。

## 知っとなっとな 街のタネ

高齢化や単身世帯の増加、高齢者の免許返納による移動手段の減少など、高齢者を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる「買い物難民」が増えてきています。問題解決として、大野町では移動販売「おれんじマート」が出店しています。出店の経緯について、大野校区ふれあい協議会会長の田邊さんから話を伺いました。



大野校区ふれあい協議会  
会長 田邊正平さん

一大野町で移動販売を始めた理由を教えてください。

大野町では高齢化が進み、買い物に不安を抱く人が多い地域です。その問題解決のため、昨年2月に開催された「支え合いのしくみづくり意見交換会」で移動販売の事例発表をしたサニーウインググループに、大野町での実施について打診をしました。

一移動販売をスタートするまではどんな準備をしましたか。

昨年末に移動販売について大野町全戸にアンケートを行い、実施日や品ぞろえなどを調査し、食料品や日用品を販売することになりました。ま

## 移動販売で「買い物難民」支援

た、3・4月に月1回、6月には毎週火曜日に試験販売をし、出口調査を行い、さらにニーズに合うようにしました。そして、7月から本格的に移動販売をスタートすることができました。



一移動販売を行ってみて、変化はありますか。

買い物に行きやすくなったのはもちろんですが、買い物を通じて地域の皆さんの情報交換の場になったり、普段家にこもりがちの方も買い物をきっかけに外に出るようになったりしました。

買い物についての不安解消以外にも、健康維持などにもつながってくればと期待しています。

(取材 広川紀夫)

### 買い物を楽しむ姿に喜びを感じます

サニーウインググループ 田中孝広さん



移動販売を楽しみにされていて、毎回顔をみせる常連のお客さまもいらっしゃいますし、お客さまが友人を誘って来られることも

あります。皆さまがお買い物を楽しんでいらっしゃる姿を拝見して、私も喜びややりがいを感じております。皆さまが元気にいらっしゃる限りは、この移動販売を続けてまいります。まだいらっしゃったことのないお近くの方も、どうぞご利用ください。

### 大野町移動販売 おれんじマート

	日時	会場
毎週火曜	10:00~10:30	大野諏訪神社
	10:40~11:10	大野市場通り

問い合わせ サニーウインググループ(☎025-266-7718)

### とっておきの私の一枚



タイトル  
「西川の遊歩道」の朝焼け

投稿者  
志賀信正 さん

一言コメント  
今日は何か良いことがありそうです。

### 募集 しています

○広報紙や自治協議会活動についてのご意見を募集しています。住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙表面の「事務局」あてに郵送または電子メールにて送付ください。

○とっておきの私の一枚 ◆あなたの「自慢の写真」(家族・風景・イベント・ペット等)に住所・氏名(氏名必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください(電子メール可)。◆採用者には千円の図書カードを贈呈。◆応募写真は返却しません。◆締め切り1月末日(3月20日号掲載予定)。◆送付先/ 広報紙表面の「事務局」あて



パソコン・スマートフォンでもご覧になれます!  
Web版「西区を豊かに」